

研究課題名	臓器移植後長期経過例における臓器横断的長期予後調査研究
研究責任者名	広島大学病院 消化器・移植外科 教授 大段 秀樹
研究期間	2021年4月16日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者	1991年5月31日から2020年7月31日の間に、臓器移植(心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓)を受け、広島大学病院消化器・移植外科に通院または入院された患者さん
意義・目的	器移植後長期予後を左右する因子は、拒絶と感染症、悪性疾患、高血圧、腎障害、糖尿病、心血管障害などの免疫抑制剤関連有害事象です。長期管理の基本戦略は拒絶予防と免疫抑制剤関連有害事象の均衡保持ですが、長期合併症の情報を多施設で臓器横断的に収集解析した研究は未だかつてありません。近年、免疫モニタリングや、薬剤感受性に関連する遺伝子多型の情報解析が可能になりました。共同研究施設における長期合併症に関する臨床情報を、効率よく正確に収集することが可能となります。これらのデータから得られた知見をもとに、長期管理戦略を組み立てることをめざします。
方法	<p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容はドナー背景、レシピエント背景、術前コンディション、免疫抑制療法、手術関連情報、外科的合併症、内科的合併症、小児症例では成長、最終観察等です。</p> <p>(個人を特定可能な情報は提供しません)</p> <p>上記の診療情報等を、共同研究機関である京都府立医科大学生物統計学講座に対して、統計解析のために提供します。その結果をもとに、東京女子医科大学消化器毛が各講座にて、長期管理向上のための提言を作成します。</p>
共同研究機関	<p>代表責任機関・研究代表者</p> <p>東京女子医科大学 消化器外科学講座 教授 江川裕人</p> <p>共同研究機関・研究責任者</p> <p>東京大学医学部附属病院 心臓血管外科 小野稔</p> <p>国立成育医療研究センター・臓器移植センター 笠原群生</p> <p>国立循環器病研究センター 移植医療部 福嶋教偉</p> <p>京都大学・医学部 胸部外科 伊達洋至</p> <p>藤田保健衛生大学・医学部 移植・再生医学 剣持敬</p> <p>京都府立医科大学大学院医学研究科 生物統計学 手良向聡</p>
試料・情報の管理責任者	東京女子医科大学 消化器外科学講座 教授 江川裕人
個人情報の保護について	診療情報等には匿名化处理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じた上で取り扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5222

広島大学病院 未来医療センター 職名 助教 大平 真裕

研究機関：広島大学